

発足以来1年未満の出来たてほやほやのチームです。

チーム生い立ち

エコミュージアムせせらぎ館のボランティアのバッタづくりの名人から教えてもらった人が核になり、興味を持った人たちがバッタの作り方を習い、バッタを作れる人が順次多くなっていった。来園者の喜ぶ姿・顔を見るのが楽しみです。

前会長の近藤さん、現会長の野田さんが、草バッタ作りに興味のある人の名簿を作ったのが、バッタチームのもとになった。2014. 3月に約30名のメンバーで発足した。

正式会則は、まだない。

活動方針

本来の火焚き作業の妨げにならない範囲での活動とする。

活動日に当番棟で余裕のある時（時間・心・体）に作る。

来園者に喜んでもらう。作品そのもので。作り方を習得して。

定例会で、情報交換を行う。

技術交流会でお互いに知っている技を教え合う。

興味のある人には、チームメンバーであるなしにかかわらず、作り方を習得してもらう。

作り方のやさしい習得方法を工夫する。

会則は、実際の活動内容に即した内容で後日まとめる。

活動結果

夫々の当番棟でのバッタ作り。

等々力競技場前広場でのフロンターレホームデーでの民家園イベントに協力。

炉端の会20周年記念日行事で、佐々木家にバッタの家開設。

特別依頼によるバッタ作成（英語ガイドチーム、畑山）。

これから

多くを求めず、ゆっくりゆっくり進んでいきたい。

炉端の会の会員で興味を待つ人は、作れるようになってほしい。

民家園の中にシュロ畑を作りましょうか？

技術の伝道師

せせらぎ館のバッタ名人：大島さん

棕櫚の葉虫の巨匠（来園常連者）：細井さん

参考書：「作ろう草玩具」 佐藤 邦昭著 築地書店発行
おまけの情報

棕櫚：ヤシ科。熱帯・亜熱帯地方原産。九州、近畿などへ移入。最近は温暖化の影響で北上中。

雌雄別株。房状の花は、雄花。種子で繁殖。葉は蠅たたき、ほうき、皮の繊維は棕櫚縄に。

日本へ移入時は珍しい植物だったので神社・仏閣などに植えられた。（京都洛中洛外図で八坂神社の門前に蘇鉄とともに植えられている。）

草玩具：子供のころ作って遊んだ思い出がありますね。

シュロ：バッタ、トンボ、カマキリ、カタツムリ、蛇、熱帯魚（民家園で習得）

ススキ：矢

オオバコ：花茎：草相撲、葉：お皿、葉柄：くじ引き

エノコロ草：穂：動く虫

クローバー：花茎：首飾り、腕輪

笹の葉：舟

ウツギ：刀

タンポポ：水車

松葉：引っ張り相撲

虫カゴの中の
草バッタ



2015. 2. 21